

ウッド・チェンジ！～身近なものを木に変える、木づくりのスズメ～

林野庁木材利用課

開催日：令和2年9月7日（月）～9月11日（金）＜5日間＞開催

来場者：442人

内容：日本は国土の約3分の2が森林。戦後に植えられた人工林の多くが、今、本格的な利用期を迎えています。国産の木材を使うことは、私たちの生活に潤いを与えてくれるだけでなく、健全な森林の維持や地球環境にも貢献することにつながります。今回の展示では、「木の良さ」や「木を使うことの意義」等について理解を深めていただくことを目的として、ウッドデザイン賞受賞作品や木製コロナ対策グッズ、木育グッズ、木のまな板など身近な木製品をご紹介します！



ウッドデザイン賞受賞作品を詳しく解説した垂れ幕や、実物の展示を実施。



木の文化と木のおもてなしとして各地の取組事例をビデオで放映。様々な木製品により身近なものを木に変える「ウッド・チェンジ」を提案しました。



木製コロナ対策グッズの「ヒノキのマスクケース」と「木系マスク」



素敵な木製品を実際にご覧いただき、木のぬくもりや感じていただきました。



食材ごとに裏表を使い分けるための印が付いた木のまな板を展示し、木のまな板の長所やお手入れ方法をご紹介します。



木で作った花輪、魚、包丁など木育に使用する様々な木製グッズを展示。